

ニーズ調査：職業訓練・産業育成分野 インドネシア、タイ、フィリピン、インド、ブラジル 開発途上国における造船・船舶修理及び造船周辺産業育成

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社日本海洋科学
- 提案企業所在地：神奈川県
- サイト・C/P機関：インドネシア、タイ、フィリピン、インド、ブラジル各国造船所、政府運輸関係機関等

対象国の開発課題

- 不十分な造船、船舶修繕施設能力
老朽化、設備能力限定、多様な新造、修繕需要に対応不可
- 造船・修繕技術、人材能力の不足
造船設計を外国から購入、独自の設計ができない。
- 調達管理等ができない。(ロジスティック)
殆どの機器、材料を輸入に依存
- 悪い財務状況
- 造船支援政策の欠如等

中小企業の技術・製品

- 需要に応じた多種多様な船舶の建造能力
- 造船の要素技術(高効率の加工・組立技術)
- 高い生産性・工程管理システム
- 高い設計技術力(省エネ、高付加価値船)
- 造船エンジニア、労働者の技術・技能レベル
- コスト競争力(合理化による生産方式)
- 船用工業(海事クラスターが形成されている)

提案されたODA事業及び期待される効果

- 内航船の現地建造による造船業の育成(インドネシア、タイ、フィリピン、インド)により、内航海運の近代化と安全確保、造船振興、修繕能力の向上が期待される。
- 造船関連船用機器産業の振興(ブラジル)により、海洋開発分野での我が国船用機器のニーズが高まり、メーカーの進出が期待される。

日本の中小企業のビジネス展開

- インドネシアへの我が国造船企業の進出(現地への出資による造船・修理業の開始)
- ブラジル河川輸送バージの建造、このための船用エンジン等販路拡大

